

はい、アゴひいて

はなわ 議会だより

2015
No.129

大きくなったかな
もうすぐ1年生（埴幼稚園）

発行／福島県埴町議会
平成27年1月23日

12月定例会

事業の詳細に迫る P 2

町の考えを問う P 4
(6議員が一般質問)

議会活動 P 12

②所管事務調査とは

各常任委員会が、会期中、議案の立案のためや問題のある事務の改善策を究明するため自主的に行う調査。今回は、総務文教常任委員会と経済厚生常任委員会がそれぞれ、町税などの収納（町民課）、健康福祉センター（健康福祉課）などを調査した。

12月定例会は、12月11日から16日までの会期中開催されました。期末手当の改正、子ども・子育て支援法制定による条例の制定、補正予算など町提出議案18件を審議し、原案のとおり可決・承認しました。一般質問では6名の議員が登壇し、消防団や災害などについて質問しました。また、会期中に②所管事務調査を行いました。

税滞納額 2年連続減少でも滞納額は！

町税などの収納状況と収納対策

平成25年度未納となった町税などは前年度に比べ3千百万円減少した。収納率は2ポイント改善し81・23%であった。今年度においても改善される見込みで2年連続して滞納額が減少する。しかし、滞納額は2億5千4百万円のぼりさらなる取り組みが求められる。

これまでも町税などの滞納対策を実施してきたが思うように進まず、滞納額は増加傾向にあった。町は、徴収嘱託員の設置など徴収体制を強化し、滞納者に対して給与や預貯金の差し押さえなど積極的に行った結果ようやく増え続ける滞納に歯止めをかけることができた。

一方、納税しやすい環境整備のため口座振替の推進やコンビニ収納、ゆうちょ銀行収納なども進められている。このような取り組みによって滞納額を減少させるなど一定の成果は収めているものの依然として多額の滞納がある。議会は、一般財源の確保と公平な税負担のため、今後もこれらを注視し、収納率の向上にむけた調査研究を続けていく。



事業の詳細に迫る

所管事務調査

整備検討委員会は進んでいるのか

健康福祉センター

町は健康福祉センターの整備などに関し調査検討するため埴町健康福祉センター整備検討委員会を設置し、施設建設の是非を含め同委員会に検討を委ねてきた。（一般質問答弁）



視察の様子

町は健康福祉センターの整備などに関し調査検討するため埴町健康福祉センター整備検討委員会を設置し、施設建設の是非を含め同委員会に検討を委ねてきた。（一般質問答弁）同委員会は、町内各種団体の代表者からなる10人で構成され、昨年2月に設置された。任期（平成27年3月末）までに施設の設置及び業務内容について町に意見を報告する予定となっている。これまで4回の会議とユーハイムやみぞ、児童保育の状況、近隣のこども園、高齢者向け住宅、保健福祉センターなど町内外の状況を視察したほか、県外の視察研修を行い、施設の基本的考え方など検討を進めている。委員からは、「健康福祉課・社会福祉協議会・保健センターを一カ所まとめる」「在宅介護は埴厚生病院と連携していく必要がある」「介護施設の運営は社会福祉法人がやるのがよい」などの意見が出されており、今後、報告書に取りまとめていく予定である。

当町の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は31%で、10

道路整備事業計画（町道伊香中妻線延長事業計画）

どうなる伊香の町道



行き止まりの町道

現在、町道伊香中妻線はユーハイムはなわで行き止まりになっている。利便性、安全性の点から伊香字簗戸の農道伊香4号線まで延長するべく、基本調査の測量を行う予定だが、未だ調査はされていない。

これから議会として

議会は健康政策・子育て支援などに関する調査・視察研修を実施しており、今後、検討委員会の報告を見ながら町民の健康づくり・健康寿命の延伸、子育て環境整備も視野に入れ、健康福祉センター構想に提言していく。

このほかの調査

- 子ども・子育て支援について
- 上水道事業の会計制度改正・経営状況について
- 教育委員会新制度について
- 教育委員会点検評価報告書について

災害からまち、人をどう守る 避難指示を的確に出す



鈴木 茂



建設が進む防災センター

質問 町の雨量計はどこに設置されているのか。
答弁 上石井に2か所、下り藤と竹之内の4か所である。

質問 停電でIP告知電話やエリアメールが使えない時の避難連絡や誘導はどのように行うのか。
答弁 人海戦術に頼るしかない。

質問 今冬の除雪体制は万全か。
答弁 除雪機購入に対して補助を継続すると共にホイールローダーなどを準備するほか8業者と契約し、除雪する予定。深夜の除雪も想定し対応する。

質問 他に頼らず町独自で支援できないか。
答弁 農業は基幹産業であるが町だけでは財源的に難しい。

❓ 町村会とは、町村を中心とした地方自治の振興・発展を目的として東白川郡4町村の町長で構成された団体の

質問 町長の危機管理に対する認識を伺う。
答弁 町民の命を最優先と考え、避難勧告、避難指示を的確に出し万全の態勢で臨む。

質問 防災マップの周知はいつ行ったのか。
答弁 平成22年11月に全戸配布した。

質問 避難マニュアルは策定されているのか。避難指示の周知方法は。
答弁 土砂災害に関する避難勧告などの判断基準を作成し、平成26年11月1日付で運用している。避難指示はIP告知電話、広報車、消防車で行う。

質問 消防団の人員確保はどうするのか。
答弁 管内の事業所を回ってお願いするなどして対応したい。

質問 本年、食用米の価格が大幅に下落した。町は町として対応できないか。
答弁 町村会で検討したが見送りとした。推移を見ないと決定できない。

米価下落に伴う 農家対策は 東電や国の対策 を見守る

これどうなんだっぺ？

一般質問とは議員が町の行財政全般について、町に疑問点を質問し、考えを求めるものです。町民に代わって町の運営を監視する議員が、議員しかできない権限として与えられています。



小林 達信議員

- 1. 少子化対策について
- 2. 職員の採用基準、職員の接遇について



鈴木 茂議員

- 1. あらゆる災害からまち、人を守るための施策について
- 2. 米価下落に伴う農家対策はどうするのか



吉田 克則議員

- 1. 町制施行60周年記念について
- 2. 消防団員に対する待遇改善について



小峰 由久議員

- 1. 産業祭について
- 2. ふくしま森林再生事業について



藤田 高志議員

- 1. 安心・安全な町づくりについての考えを伺う
- 2. 健康政策の現状と今後について



鈴木 幸江議員

- 1. 役場庁舎前駐車場の使用について
- 2. 地域公共交通総合連携計画実証運行「乗り合いタクシー運行」
- 3. 空き家の状況および対策について

一般質問は、パソコンやスマートフォンで見ることができます。
<http://smart.discussvision.net/smart/hanawa/>

町制施行60周年記念行事は町全体でお祝いしたい

祝をしたいと考えている。

質問 「温故知新」古るきを知り今後の埴町の行政に生かすべく質問。「埴町史第3巻」に町制施行の記載はあるが昭和30年に町村合併に至った経緯は。

答弁

昭和の合併・平成の合併があるが、国の政策により当時の町村財政問題、時代背景もあり合併に至った経緯がある。

質問

来年は町制施行60周年にあたるが記念行事の具体的な内容は。

答弁

現段階では具体的にない。町全体で町制施行60周年のお

消防団員の待遇改善は要望はない



埴町を守る消防団

質問

消防団員は昼夜を問わず、出初式・秋季検閲・消防操法訓練・地域消防及び防犯など、様々な活動をしており町民のために、苦勞をかけている。現在の消防団員に対する処遇はどのようになっているのか。

答弁

消防団活動に対し敬意と感謝をしている。身分は特別職の地方公務員。消防団員の年報酬、出動手当、退職報償金制度などがあり処遇は条例に定められている。

質問

消防団員からの処遇改善の要望などは出されていないのか。

答弁

消防団からは町に処遇改善の要望は届いていない。町では予算編成するうえで、毎年各班で取りまとめをしてもらうが、装備などの要望がほとんどである。

質問

消防団に入団しやすい条件整備、待遇改善が必要ではないか。消防団員の家庭の町民税にあたる分を免除するなど町として消防団員に対する直接的な待遇支援はできないか。

答弁

地方税法があるので簡単には免除することはできない。消防団に入りやすいような運営に力を注ぐ。

質問

商工会青年部の「ふれあい市」から産業祭と名を変え25回を迎え現在の社会状況の中で開催する目的、意義を伺う。

答弁

多くのボランティア、各方面の協力によりたくさんの人出があり、農産品の風評払拭、農業振興など、町活性化の役目を果たしている。

質問

経済効果と予算額は。

答弁

売上約8百万〜1千万円、総額3千万円くらい。



産業祭のにぎわいを町中にも

いである。首都圏との交流も含め、全額計上できない。町のPR効果は大きい。

予算は町が5百万円、企業協賛が68社120万円である。

質問

出店区分、内容は。

答弁

練馬区・葛飾区、埴工業高校、他数店を除き町内からの出店である。内容はほとんどが

食べ物屋台である。

質問

町産業の振興に役立っていると思えない。対案を申す。

答弁

産業祭の予算・催しを分割し流灯大会とダリアまつりに配分する。流灯大会は商店街をメイン会場に午前中の水上曳引き競走、各商店独自のサービス、町内各駐車場における各種出し物で一日中塙を満喫してもらうのはどうか。

質問

産業祭に代わるものであればよいというものでもない。基本的には商工業の発展。町民主導でやるということであれば変えるのもやぶさかではない。町の活力につながるかどうか産業祭実行委員会で検討したいと考える。

質問

林業振興費1億円の執行状況・計画を伺う。

答弁

計画作成中であり、今回、県の補正予算で町内山林の航空レーザー測量予算約6千万円を獲得した。町全体の森林状況を把握し、計画を立て次年度に実施したい。

質問

レーザー調査するより町の製材業者、素材業者に働きかけ、早急に間伐促進をすべきである。

答弁

レーザー調査で詳細なデータが得る。本年度中に計画を作成し来年度執行したい。

産業祭の目的・意義は？活性化につながっている



小峰 由久

4月より議会基本条例を施行します。議会の採点評価をお願いします。「有言実行あるのみ」

福島森林再生事業の状況は来年度、執行したい

災害時の安全確保は 事前予測・パトロールを強化

質問

災害時における山間地域などの安全確保について伺う。

答弁

大雪による通行止めなどの事前予測の強化、パトロール方法の見直しを行う。危機管理についても、地域住民のコミュニケーション強化を二ヶーション強化をお願いし、問題発生が予測される場合、町へ早めの連絡をお願いしたい。

質問

コンパクトシティ化と今後の交通対策は。

答弁

常豊地区デマンドタクシー実証運行を行う

ている。その結果によ

つては、住民の交通手段の利便性向上にもつながる。他地域より要請があれば検討する必要がある。

質問

コンパクトシティとは、都市の中心部に行政、商業、住宅などさまざまな都市機能を集中させること

質問

中心市街地の空洞化の現状と今後の対策について伺う。

答弁

空き家・空店舗の活用も商工会や中心市街地各種団体とも連携協力し事業なども検討したい。

特に現在「ダリアII

塙町」と有名になっていく。塙町の産品開発にも取り組んでいる。今年で20回となる「まんがグランプリ」作品の活用。

「木」の町であり、木材関連の学校など、誘致も考えている。

活用できる空き店舗を利用した町づくりは必要と考える。町を代表するような事業ができるよう商工会の皆さんと考えていきたい。

健康政策事業の現状は

健康寿命延伸に努めている

質問

町民の健康増進への取り組みについて考えを伺う。

答弁

高齢化に伴う医療費の増大が当町でも進んでいる。全国と比較し塙町は「メタボ」の方が多い。「健康はなわ21計画」を策定し、健康寿命の延伸や、生活習慣病予防のため、対象者への健康教室や個別訪問も強化推進中である。



藤田 高志

改めて町民の皆様と共に町の将来を考えていきましょう。

質問 (仮称)健康福祉センター計画の現状について伺う。

答弁

健康福祉センター整備

備検討委員会の開催も4回となった。過日、先進地視察を富山県・新潟県で行った。答申に向けて意見をとりまとめた。



各地で健康教室が行われている

空き家の適正管理は 全国的な動向をみたい

質問

空き家の状況と町の対応は。

答弁

平成22年調査時、100戸である。個人財産なので関与していない。所有者から寄付申し出や危険家屋についても苦情などがある。

質問

過疎化・高齢化の進行で空家の増加が予想される。人口対策・定住促進対策として空き家バンクを開設してはどうか。

答弁

個人財産であり業者

に任せたい。法律もクリアしなければならぬ。

質問

国は空家条例特措法案の年度内成立を目指している。町も一定の方向を出すべきでないのか。危険家屋も具体的にできることはあるのか。

答弁

空き家は町の景観を損なう。活用し活性化に生かしたい。危険家屋は行政がどこまで関与できるか非常に難しい。条例制定には関係機関とも協議し、自治体条例を参考に検討したい。

空家条例特措法とは、撤去命令などの行政処分を行う権限を自治体の規模を問わず、すべての自治体に与えること。

交通弱者対策は 買い物弱者・交通弱者を守る

質問

常豊地区でデマンドタクシー実証運行が行われている。交通弱者は65歳以上と限らない。なぜ登録制なのか。運行時間・回数を制限して正確なニーズが把握できると思えない。

答弁

65歳未満は運転できると判断し、対象外とした。登録の申し込みは随時対応していく。

運行時間は朝夕、福島交通が運行している。福島交通との関係により実験許可がでないためである。

質問

実証実験に地域のニーズを加え実情に合ったものにしてほしい。

答弁

費用対効果・利用率を検証し、再度、協議会の中で検証していく。今後、民間と提携しながら買い物弱者・交通弱者を守っていく考えである。

役場駐車場の満車対策は 町有地を利用する

質問

満車時が多々あり、来庁者が困る時がある。

答弁

狭い状況である。近距離の職員には徒歩出勤を指導している。今後、来庁者が多いと予測できる場合、職員の私用車は庁舎近隣の町有地利用で対応する。

デマンドタクシーとは目的地、希望時間、乗車場所などを選び、バス並みの安価な料金の公共交通サービス

このほか小林達信議員から次の質問がありました。

・少子化対策のため条例を制定してはどうか。
・職員の採用基準と接遇向上は。



鈴木 幸江

空き家条例により適正な管理で安心・安全な地域を！



条例の制定

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法に基づき、認可を受けた幼稚園・保育園・こども園、地域型保育事業の運営基準を定める。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の改正による。小規模保育事業・家庭的保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業の認可基準を定める。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
 児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの設備・運営について基準を定める。

条例の改正

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例
 町長等の給与及び旅費に関する条例
 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例

福島県人事委員会の勧告により職員勤勉手当の引き上げに合わせ、12月支給の期末手当を0・15月増額、平成27年以降は6月支給分を1・475月、12月支給分を1・575月とする。

埴町議員報酬(年額)比較

	改正後	改正前
報酬	188,000円×12か月	188,000円×12か月
期末手当	188,000円×1.15×3.05月	188,000円×1.15×2.9月
合計	2,915,410円	2,882,980円

職員の給与に関する条例

福島県人事委員会の勧告により給与表・勤勉手当支給率・単身赴任手当・管理職特別勤務手当の改正。勤勉手当の合計を0・15月増額する。

一般職の任期付職員の採用等に関する条例
 給与表の改正、期末手当の合計を0・15月増額する。

国民健康保険条例
 出産育児一時金基本額の変更。

税特別措置条例
 企業立地促進法の計画の同意の適用期限を2年間延長する。適用されれば課税免除。

質疑

制定が遅いのでは

藤田(一) 平成26年3月議会にて制定すべきでなかったか。遅れた理由は、9か月間該当する企業はなかったか。

答弁 適用期限を4月1日にさかのぼるので本定例会で問題ない。該当する企業はない。

条例の廃止

保育の実施に関する条例を廃止する条例
 児童福祉法の改正による。

権利の放棄

倒産状態・会社清算の事業所の滞納分の固定資産税を消滅する。放棄する税額の合計540万9700円
 債権者
 ・(株)高伸木材
 ・東白建設工業(株)

質疑

交渉はしたのか

藤田(一) 高伸木材から土地を購入したが、購入金額から税金を差し引くことはできなかったのか。

答弁 話し合いはしていない。抵当権が設定されていて差し押さえをしてもお金は入らない。

そのほかの放棄は

小林 この案件以外に企業などの税で権利の放棄はないか。
 答弁 この2件以外はない。

補正予算

補正予算のあらまし

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	2億4223万円	67億3789万円
国民健康保険特別会計	3125万円	12億254万円
介護保険特別会計	52万円	9億2118万円
後期高齢者医療特別会計	7万円	9693万円

質疑

徴収体制強化を

小林 税徴収において体制を強化してはどうか。
 答弁 与えられた人員で毅然とした態度で対応したい。

企業の誘致の効果は

藤田(高) 企業誘致推進事業の状況は。
 答弁 今年度(株)オーゼキ、未来環境研究所を誘致した。

一般会計

平成26年度一般会計補正予算(第5号)

期末手当等改正に伴う増額、ふくしま森林再生事業(森林・林業復興対策実証事業委託料)の追加、笹原小学校エアコン設置工事、中学校プール建設設計業務・武道場建設設計業務委託料の減額



誘致した(株)オーゼキ

風評被害対策とは

藤田(高) 消費者風評対策業務委託の事業内容は。



モニタリングの説明を受ける参加者

答弁 風評被害払拭のため食品のモニタリング検査体験、道の駅・宿泊体験などである。これまで練馬区・葛飾区などの5団体が体験した。

要・準要保護援助費の支給基準は

鈴木(安) 要・準要保護児童・生徒援助費の支給基準と増額の理由は。

答弁 要保護世帯は生活保護世帯、準要保護



地域を盛り上げる矢塚地区の皆さん

世帯は町民税非課税世帯、児童扶養手当受給世帯、国民年金減免世帯、生活保護の所得1・3倍以下の世帯である。再度の周知で該当世帯が増え、補正増した。

旧矢塚分校の利用は

鈴木(茂) 空家再生等整備事業で旧矢塚分校の利用実績は。
 答弁 矢塚地区外から平成25年度は350人、26年度は450人の利用があった。

特別会計

平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

健康保険税の滞納繰越分の増、保険給付費の増

平成26年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

保険料の滞納繰越分の増

平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

専決処分

平成26年11月21日専決処分
 平成26年度一般会計補正予算(第4号)
 衆議院議員総選挙費
 566万円の増

陳情

埴町商工会ほか3件

訂正

議会だより127号の一部に誤りがありました。
 14ページの質問に「役員職員の皆様」とあるのは「役職員の皆様」の間違いです。お詫びして訂正いたします。

追跡レポート ～ 一般質問のその後 ～

定例会で行われた一般質問の中からピックアップしその後の動き、現在の状況を調査しました。

公式フェイスブック スタート

平成26年11月1日から町公式フェイスブックを開設した。開設にあたり、「埴町公式Facebookページ運用方針」を制定し、目的や発信内容などを定め、総務課企画情報係が投稿している。

ひと目で内容がわかる記事にしている。記事については、毎日更新を目指している。また、町全体での情報発信にはなっていないため、さらに充実させるべく検討中である。

様々な情報を発信し、さらに多くの方に見てもらえるよう努める。埴町フェイスブックの検索方法は
・埴町ホームページから埴町フェイスブックのバナーをクリック
・検索エンジンから「埴町 フェイスブック」で検索

問い合わせは総務課 e-mail: soumu@town.hanawa.fukushima.jp (電話43-2111)まで。



町のフェイスブック

議会議員と意見交換しませんか

議会議員と意見交換会をする団体を募集しています。町民または町内に勤務しているおむね10人以上のグループが対象で、ご希望の会場に伺います。お申し込みは、議会事務局 (Tel 43-2150) にお願います。

- 議会に対しての感想**
- ・議会報告会や意見交換会の開催時期は一考を。
 - ・若者が戻って来る町、定住できる町づくりの取り組みを望む。

- 全体について**
- ・「これぞなんなんだっぺ」は内容に入っていきやすくよい。
 - ・色々なグループの紹介を楽しく読ませてもらっている。
 - ・議会基本条例が制定されたことで議会や町の行政に関心を持つと思う。
 - ・一般質問のページ余白が多い。内容が薄く読みごたえがない。
 - ・分かりやすく文字も大きく読みやすい。記事内容で各議員の個性が見えてきたように思う。
 - ・縦書き、横書きが混在して読みづらいところがあり改善を。
 - ・議員の活動が理解できるように書いてある。

- 表紙について**
- ・子どもたちの自然な表情がとてもよい。
 - ・季節感を出した表紙写真を。
 - ・将来を担う子どもたちの笑顔がよい。

議会だよりモニターさんの声 (前号の感想)

SNSで情報発信を

質問 町の情報をツイッターやフェイスブックで発信してはどうか。
答弁 前向きに検討している。

(平成26年9月定例会)

健康政策とは 議員は何をすべきか



先進地を視察

平成26年11月19～21日、長野県の先進的健康政策および議会活性化の調査研究の目的で総務文教・経済厚生常任委員会合同視察研修「南箕輪村 議会改革活性化」松川村 男性長寿日本一の村「松本市 健康長寿延伸都市」を実施した。

南箕輪村 平成25年度全国町村議会議長会特別表彰を受賞しており議会活動全般において全国的に高く評価されている。住民の意見を聴くため村内各種団体との懇談会を年間通じて実施、住民から出された意見を迅速に対応する仕組みづくりなどを行っている。

松川村 男性平均寿命82・2歳で男性長寿日本一を契機に「健康長寿日本一」に向けて健康政策に取り組んでいる。保健補導員・食生活改善推進協議会員の活動、健康運動指導士による健康教室の充実、地道な活動により健診受診率の向上など成果を上げている。

松本市 「健康長寿延伸都市松本」を将来像として、まちづくりに取り組んでいる。健康に対し、医師である市長の考えが盛り込まれ一人ひとり「いのち」と「暮らし」を尊重し、「健康寿命」の延伸につながる人と社会の「健康づくり」を目指し、「健康長寿延伸都市」の宣言を議決した。

これからの議会議員とは

町議会議員研修会が10月28日郡山市の「ビックパレットふくしま」で開催された。研修内容は「地方政治の課題転換期を迎える議会」で講師・明治大学名誉教授中野章氏。「これからの政治経済のゆくえ」講師・帝京大学経済学部教授黒崎誠氏。

これからの議員像はICT(インターネットなど)を駆使できる議員、勉強する・若さを保つ議員、女性・子どもに優しい議員などが求められる。今後の政治経済の行方を探る研修を全議員で研修を受けた。

タブレット導入 どう使う

12月16日全員協議会でタブレットの導入を決めた。議会情報化に対応していくもので他議会でも導入が少しずつ増えてきている。タブレットは自費で購入し、第一段階では操作に慣れること。最終的に

にはタブレットを議場などに持ち込んだ議会を目指す。当面の利用方法は各種通知文・会議資料などのメール送受信、スケジュール確認などである。また、議会活動の情報提供・インターネットで情報を得るなどを考えている。



タブレット操作研修

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：はなわ代官にぎわい座

活動場所：「き」来所 代表者：八重嶋政俊さん TEL 080-1858-2567

みんな楽しく活動し 町も地域も活性化

「はなわ代官にぎわい座」は、地域活性化と「代官所跡エリアのにぎわいづくり」を目的に、平成18年7月に発足し、今年で10周年を迎える町おこし団体です。

座員（メンバー）は、埴町・地域エリアにこだわらず、趣旨に賛同した商店・事業所・個人など18名です。

少子化・高齢化が進み住民同士のふれ合う機会が減っています。子どもの頃の思い出がよみがえってくるような雰囲気ので狭い小さな道（横丁）で有志が集い「微力ではあるが一石を投じることができれば・・・」と各種行事を行っています。主な活動は「久慈川にこのぼりを泳がせる」、



楽しいイベントご参加ください

「はなわ代官七夕まつり」、「はなわ代官横丁まつり」です。

はなわ代官にぎわい座では、「明るく・楽しく・元氣よく」をモットーに町を元氣にしてくれるメンバーを募集しています。



久慈川を泳ぐこいのぼり

※議会会議録は、図書館・議事事務局、またはホームページでもご覧になれます。

編集後記

当町でも人口減少が急激に進んでおり、将来を考えると、若者向けの政策をもっと強く推進しなければならぬと感じます。

健康政策は結果が出るまで時間がかかります。しかし、将来の町のためにも充実強化し、健康寿命延伸を目指すべきです。

町づくりは「自助・共助・公助」が基本で、共に助け合いながら、自分たちの町を自分で考え、自分で守ることが今以上に必要となります。そのためには、地域で顔の見えるお付き合い、コミュニケーションが一番大切なのでしょう。

藤田高志

議会傍聴に おいでください

次回の定例会は、3月10日から開会される予定です。氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお出かけください。

広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 鈴木 幸江 |
| 副委員長 | 吉田 克則 |
| 委員 | 鈴木 茂 |
| 委員 | 藤田 高志 |